

図解



1 文章

★ 小説や手紙のように、文字で表した一まとまりの内容を、文章という。なお、音声で表した一まとまりの内容は、談話という。文章や談話は、文法のうえで最も大きな言葉の単位。

2 段落

★ 文章を内容のまとまりによって区切ったものを、段落という。段落の初めは、改行して、最初の一字を下げて書く。

3 文

★ まとまった内容を表した、一続きの言葉を文という。文の終わりには、句点(。)を付ける。疑問符(?)や感嘆符(!)を付けることもある。

4 文節

① 意味が分かる範囲で、文をできるだけ短く区切ったもの。
 ② 発音のうえからも不自然にならないまとまりを文節という。文の途中や文の最後に「ね」「さ」「よ」などを入れて区切ることができる。

5 単語

① 意味を壊さない程度に、文節をさらに細かく分けた言葉の最小の単位を、単語という。
 ② 文節は、一つの単語だけでできているものも、二つ以上の単語のでできているものもある。

